

GAIAのなかで、 土肥真人さんと仲間たちの 10年をかんがえる Continued

今年度のセミナー／レクチャーシリーズは、来年3月末に区切りがやってくる Institute of Science Tokyo の土肥研究室の、過去約10年の活動に注目した企画として通年で実施しています。土肥さんたちの活動は Ecological Democracy (エコデモ) を、この国で考え実践する歩みであり、いままさにこれこそが、日本そして世界にとって、Critical な課題と思われたからです。

前期のシリーズでは“多摩川感謝す”“Team SPOON”そして“ARCH”の活動にふれました。共通するのは主客の逆転によるあらたな地平の発見と、それに基づく Convivial な“まち”の追究・実現でした。

後期はまず、まちのデザインに、エコデモがどのように実践的に参与できるのかを、事例に基づいて考えます。またエコデモの原典を読み合わせ、まちづくりの実践を考え、現場にフィードバックする試みの継続をとりあげます。この10年の間に、私たちはこれまでに経験したことのないパンデミックに遭遇しました。部屋に閉じ込められたコミュニケーションの意味をふりかえり、さいごにあらためて、まちと私たちのあり方を、自然と社会の関係を、総括的に考えます。

ひきつづき、みなさまのご参加とご意見をいただければ幸いです。

景観研究センター所長 山下三平

テーマ：GAIAのなかで、土肥真人さんと仲間たちの10年をかんがえる-Continued

■ 10月9日(金) 18:00-19:30

景観デザインからまちの再生をかんがえるー公共空間の再整備とエコデモの可能性ー
柴田 久(福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授)
<https://ksu-keikanseminar2026s1.peatix.com>

■ 11月20日(金) 18:00-19:30

エコデモセミナー：
コミュニティ・デザインからエコロジカル・デモクラシーへ、一緒にジャンプする
清野 隆(國學院大學 観光まちづくり学部 教授)
山本 真紗子(東京科学大学 環境・社会理工学院 都市・環境学コース 助教)
<https://ksu-keikanseminar2026s2.peatix.com>

■ 1月8日(金) 18:00-19:30

コロナ下の「エコデモラジオ」、エコデモの「聖性」に耳と心を澄ます／総括
木場 佳音(エコデモラジオ・パーソナリティ、都市計画コンサルタント)
楠本 奈生(エコデモラジオ・ディレクター、東京科学大学 博士課程)
土肥 真人(東京科学大学 環境・社会理工学院 都市・環境学コース 教授)
<https://ksu-keikanseminar2026s3.peatix.com>

会場：対面 九州産業大学 23号館 4階 景観研究センター 景観ライブラリー
オンライン Teams ミーティング *各回とも Peatix にてお申し込みください

参加費：無料

九州産業大学景観研究センター
景観セミナー／レクチャーシリーズ
2026 後期